

平成23年度障害福祉制度 新規・拡充事業について

例年よりも早い梅雨明けで、本格的な暑さとなった7月21日に第157回支援研が開催されました。今回のテーマは「平成23年度 障害福祉制度 新規・拡充事業について」です。資料は全28ページとボリュームたっぷり。北九州市保健福祉局障害福祉部 障害福祉課の5名の皆さんから、事業内容や予算等についてご説明頂きました。

最初に、企画調整係長 南 秀幸さんから、現在の障害福祉関係予算の編成のながれをご説明頂いた上で、予算担当 中島 亮さんから、北九州市障害福祉当初予算の規模、予算の推移等、具体的な予算の内容に加えて、障害福祉施策の方針、本年度の主な事業、支援計画の策定事業内容等をご紹介・ご説明して頂きました。



平成23年度北九州市予算案 「人にやさしく元気なまちづくりを進める緑の成長戦略予算」

【4本の柱】

1. 「環境とアジア」をキーワードに、元気なまちづくりの推進
2. 子育て・教育、福祉・医療の拡充
3. にぎわい、ふれあいの創造と市民との協働・連携の推進
4. 安全・安心なまちづくりの推進

「障害のある人が自ら望む暮らしが 送ることが出来る 街づくりの実現のために」

【障害福祉課・3つの基本目標】

1. 生涯を通じた支援体制の整備
2. 充実した地域生活のための支援
3. 人権の尊重自己実現の推進



更に、南さんから「次期 北九州市障害者支援計画の策定について」のご説明がありました。この計画については、逐次今後の予定等、内容の詳細をホームページにて公開しているそうです。関心がある方は、「北九州市障害者支援計画」で検索してみてください。

続いて、事業担当 福岡雅章さんから、新規事業である「夜間・休日精神医療相談事業」、拡充事業の「ひきこもり地域支援センター事業」等に関するご説明をして頂きました。色々と未知数な部分があり、困難が予想されますが、精神の救急医療体制を充実していく上で大切な事業なので、頑張って取り組んでいきたいと、意気込みも語って頂きました。

次に、自立支援係長 谷 聡之さんと山下涼子さんから、本年度10月1日から施行予定の「同行援護」と「グループホーム・ケアホームの利用の際の家賃の助成」のご説明をして頂きました。国の説明会では詳細説明や具体的な資料の配布を期待していたものの、国から示されている資料は今回配布した枠組みの資料提示だけで、10月施行にもかかわらず、詳細がわからないまま、担当者としても今後の対応に苦慮しているとのことでした。



最後に事務局から、情報提供として6月30日に開催された障害福祉関係主管課長会議の抜粋資料が紹介されました。詳細はインターネットにて「障害保健福祉関係主管課長会議等資料 6月30日」でご検索ください。

参加者の方からは、『国の方向性を確認しながらも、市の現状を踏まえた取り組みや地域生活支援事業等の内容等を検討していく必要があるのではないか』とのご意見があり、市担当者としても真摯に受け止めていきたいとのことでした。

なお、今回は56名の方にご参加頂きました。今後も皆さまのご参加をお待ちしています。

※こちらの議事録は北九州市障害者自立支援協議会の
ホームページでもご覧いただけます。
<http://kitakyushu-net.shien-c.com/>

